

Happy New Year!

2025年冬号

ふくら通信



2025年最初のふくら通信となります。新しい年を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

2024年は多くの出来事がありました。年始早々、石川県能登地方で大きな地震が発生し、台風などの自然災害が相次ぎ、南海トラフ地震への備えが話題となりました。一方で、新しいお札の発行や、パリオリンピックでの日本選手団の活躍で、金メダルを合計34個獲得するなど、明るいニュースもたくさんあり、日本の未来への希望を感じる年でもありました。

ふくらでも新しい仲間が続々と増え、新規事業の立ち上げに向け事業開発部を再構築するなど、新たな未来への第一歩を踏み出す年でした。新しい人や新しい取り組みのなかでも、ふくらの理念や信念は変わらずに、今後も利用者様と関わらせていただきたいと願っております。

2025年が皆さまにとって穏やかで健やかな一年となりますよう、職員一同、引き続き真心を込めてサポートさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



社長コラム

株式会社福蔵FUKURA 代表取締役 須田 祥子

【グループホームの準備】

昨年末からグループホーム設立の準備にとりかかり、あれやこれや検討を進めているところです。親御さんのご苦勞の一端を担い、お子さんの将来に希望と安心感を与えてさしあげたいという一心で始めたこの事業です。一生涯にわたって支援をし続けるという当初からの願いは、可愛い子供たちの顔を見るにつけ強まる一方です。しかし、医療ケア者対応のグループホームは全国的にもほとんどなく、進む道は険しいのが現状です。親御さんにも本人にもふくらで慣れ親しんだ人たちと一緒に年を重ねていける安心感を提供出来たらとても幸せです。グループホームと併設してショートステイも始められるようにと計画しております。ご存じのとおり、あらゆるものが物価高騰し建築費も数年前とは比べ物にならない昨今の事情もありますが、あれこれ頭を悩ませながら可愛いふくらの子供たちのために、一歩ずつ道を拓いていきたいと思っております。

【年末年始の長期休日】

今年は、土日の関係もあり、お仕事をされている方は長いお正月休みとなったのではないのでしょうか。ふくらも訪問スタッフ以外は、今年はまとまったお休みがとれ、日ごろ忙しくしている職員たちにとってもリフレッシュできた時間となったようです。私もお正月休みは仕事を忘れて家族や孫といることを大切にしました。おせち料理作りやおやつの用意。そして今年の孫たちへのお年玉は何か楽しいものを・・・と企て、コインのつかみ取り大会にしました。キャッシュレスに進む社会ですが実際にお金に触れたりする機会も必要だと感じております。お金のありがたみや大切さも教える機会が必要です。3歳の孫にもつかみ取りの練習をさせ、片手で握るというルールも教えてチャレンジです。金額はわずかなものとなりましたが、応援する親も大笑いし楽しかったようです。



リフレッシュできましたので、また令和7年をふくらのために愛をこめて邁進していきたいと思っております。

今後とも皆様のご理解とご協力をなにとぞよろしくお願い致します。



株式会社福蔵FUKURA